

生活者

生活と政治をつなぐ情報紙

通信

No.386
2023.11.1

東京・生活者ネットワーク

発行 東京・生活者ネットワーク
〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-19-13 ASK ビル4・5階
TEL.03-3200-9189 FAX.03-3200-9274
Eメール tokyo@seikatsusha.net
URL https://www.seikatsusha.me
発行責任者 山内玲子
定価 年間1000円・1部100円 郵便振替口座 00130-3-18417
毎月1回1日発行 1994年5月23日第三種郵便物認可

生活者ネットワーク3つのルール

1

議員は交代制(ローテーション)

生活者ネットワークの議員は、交代制。議員を職業化、特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。

2

議員報酬は市民の政治活動資金に

生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。

3

選挙はカンパとボランティアで

選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでカンパ(金)と知恵や労力(ボランティア)を出し合い、選挙を行います。

都議会ネット

■2024年度東京都予算要求発表。

地域ネット

福生ネット

「たねと私のたび」上映会
11月19日(日) 13:30~15:30 羽村市生涯学習センタープリモホールゆとろぎ(羽村駅) 予約500円、当日1000円、18歳未満無料 主催:にしたま地域協議会 042-553-0701

清瀬ネット

生活のお困りごと相談ください(毎月第3日曜日)
11月19日(日) 14:00~16:00 清瀬・生活者ネットワーク事務所(清瀬駅) 家計相談員が対応します。介護のご相談も。秘密厳守。無料 042-494-8720

調布ネット

おしゃべりカフェ かるたで知ろう、子どもの権利!
11月25日(土) 14:00~16:00 国領駅北ふれあいの家(コクティ1階)(国領駅) 042-487-3087

府中ネット

学習会 正しく知ろうPFAS地下水汚染問題
11月25日(土) 19:00~21:00 ルミエール府中第1、第2会議室(府中駅) / オンライン併用 講師:樋田博さん 042-360-4443

世田谷ネット

香害学習会
12月9日(土) 14:00~16:00 生活クラブ館201(経堂駅) 講師:平賀典子さん 03-3420-0737

東村山ネット

映画上映会「原発を止めた裁判長 そして原発をとめる農家たち」
12月10日(日) 10:00~12:30 東村山サンパルネコンベンションホール(東村山駅) 上映と樋口英明元裁判長の講演 予約900円、当日1000円、障害者・介助者500円、高校生以下無料 主催:東村山地域協議会 042-392-7677

葛飾ネット

なんでも相談会(毎月10日)
12月10日(日) 10:00~12:00 葛飾・生活者ネットワーク事務所(京成高砂駅) 区政のこと、暮らしの中の困りごと、など 03-5876-4757

生活者ネットワークは東京都内34の自治体にあり、都議1人、市・区議39人の議員とともにそれぞれの地域課題に取り組むと同時に、市や区をこえた「東京問題」には全体で取り組んでいます。

東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。



未成年者が親の同意を得ずに契約した場合、民法が定める「未成年者取消権」もあるが、その証明は困難であり、何よりインターネット活用におけるルールづくりや消費者教育の必要性も問われている。

世田谷区では、妊娠届が提出された際に手渡す「母と子の健康バック」の中に啓発チラシを封入の他、ネウボロ面接や乳幼児家庭訪問などで周知啓発を行う。また、消費生活の分野でも情報が保護者へ伝わるよう国・都と連携。区報でも取り上げるなど、子どもの事故防止のための取り組みが強化されている。



世田谷・生活者ネットワーク区議会議員 関口江利子

世田谷区では、妊娠届が提出された際に手渡す「母と子の健康バック」の中に啓発チラシを封入の他、ネウボロ面接や乳幼児家庭訪問などで周知啓発を行う。また、消費生活の分野でも情報が保護者へ伝わるよう国・都と連携。区報でも取り上げるなど、子どもの事故防止のための取り組みが強化されている。

未成年者が親の同意を得ずに契約した場合、民法が定める「未成年者取消権」もあるが、その証明は困難であり、何よりインターネット活用におけるルールづくりや消費者教育の必要性も問われている。

世田谷区では、妊娠届が提出された際に手渡す「母と子の健康バック」の中に啓発チラシを封入の他、ネウボロ面接や乳幼児家庭訪問などで周知啓発を行う。また、消費生活の分野でも情報が保護者へ伝わるよう国・都と連携。区報でも取り上げるなど、子どもの事故防止のための取り組みが強化されている。

世田谷区では、妊娠届が提出された際に手渡す「母と子の健康バック」の中に啓発チラシを封入の他、ネウボロ面接や乳幼児家庭訪問などで周知啓発を行う。また、消費生活の分野でも情報が保護者へ伝わるよう国・都と連携。区報でも取り上げるなど、子どもの事故防止のための取り組みが強化されている。

世田谷区では、妊娠届が提出された際に手渡す「母と子の健康バック」の中に啓発チラシを封入の他、ネウボロ面接や乳幼児家庭訪問などで周知啓発を行う。また、消費生活の分野でも情報が保護者へ伝わるよう国・都と連携。区報でも取り上げるなど、子どもの事故防止のための取り組みが強化されている。

世田谷区では、妊娠届が提出された際に手渡す「母と子の健康バック」の中に啓発チラシを封入の他、ネウボロ面接や乳幼児家庭訪問などで周知啓発を行う。また、消費生活の分野でも情報が保護者へ伝わるよう国・都と連携。区報でも取り上げるなど、子どもの事故防止のための取り組みが強化されている。

世田谷区では、妊娠届が提出された際に手渡す「母と子の健康バック」の中に啓発チラシを封入の他、ネウボロ面接や乳幼児家庭訪問などで周知啓発を行う。また、消費生活の分野でも情報が保護者へ伝わるよう国・都と連携。区報でも取り上げるなど、子どもの事故防止のための取り組みが強化されている。

世田谷発 乳幼児の事故や子どものインターネット依存を防ぐ

全国で93万人の中高生にインターネット依存の兆候があり、小学生を含む未成年の子どものオンラインゲームで遊び、高額な課金請求に至るケースが相次いでいる。子どものインターネット依存を防ぐにはどうしたらよいか。また、乳幼児の誤飲事故も数多く報告されるなど子どもの生育環境に異変が起きている。そこで世田谷区議会第2回定例会で質問に取り上げ、事故防止のためのおとな社会の役割について考え、取り組みを進める機会とした。

未成年者のインターネット課金トラブル
全国で93万人の中高生に、インターネット依存の兆候があり、そのうちの7〜8割がゲーム依

相次ぐ子どもの誤飲事故
国はマグネットセットと水で膨らむボールの2つの玩具を特定製品(生命・身体に危険を及ぼす製品)に指定し、本年6月から製造を禁止、12月から販売を禁止した。

いづれも形態が小さく、乳幼児が簡単に飲み込むことができ、一旦飲み込むと体外に排出されにくい。過去にも1歳9カ月の幼児が、X線検査で小腸に異物を発見し腸閉塞と診断され開腹手術で37個のマグネットが摘出された事故、11カ月の幼児から58個摘出された事故が報告されている。

これらは製造禁止となったが、すでに販売された家庭にあるときは子どもに触らせないよう注意喚起が重要だ。

防ぼう！乳幼児の事故
世田谷区では、妊娠届が提出された際に手渡す「母と子の健康バック」の中に啓発チラシを封入の他、ネウボロ面接や乳幼児家庭訪問などで周知啓発を行う。また、消費生活の分野でも情報が保護者へ伝わるよう国・都と連携。区報でも取り上げるなど、子どもの事故防止のための取り組みが強化されている。

水俣病70年の深い闇

9月27日大阪地裁判決から考える

この日の判決は、久々の水俣病患者原告勝訴であったことから、全国的に大きく報じられ、この小文をお読みの方なら、きっと目にされたことだろう。

この10年の敗訴続きを思えば確かに「画期的」かも知れないし、原告の「歓喜」を伝える報道も少なくなかった。だが、それは表層の理解に過ぎない。そもそも第1陣の提訴から9年もかかって全原告128人に認められたのは、一人275万円に過ぎない。いくら重症者がいないとは言え、60〜70年に及ぶひどい頭痛や手足のシビレを抱えながらの苦しい生活がこんな金額で埋められたと思っている原告など一人もいないだろう。だが裁判官の非道を責めているのではない。そもそもの請求額が一人450万円に過ぎないのだが、弁護士を非難したいわけでもない。苦しい「現実的選択」の末、ここまで辿り着いたのだから。

そもそも交通事故の損害賠償請求事件に見られる被害者側の過失など水俣病にはあり得ない。水俣病事件は国県の庇護のもとで行われたチッソ一企業による加害行為であり、原因工程の運転開始、つまりメチル水銀の流出開始の1932年以降は、危険を伴うことが常識の化学工場の操業に対する安全確保義務違反の結果として、また自らの工場排水が原因と判明したにもかかわらずそれを否定して操業を続けた1959年以降は未必の故意による結果として、水俣病という傷害・殺人事件は続き、原因物質のメチル水銀は、水俣条約が求める安全基準を満たさない状態で今日もなお水俣湾埋め立て地のわずかに2メートル下で息



水俣湾埋立地で不知火海を見つめるお地藏さまたちは、1990年代に患者さんや石牟礼道子さんたちによって建立が始まった

をひそめている。

問題は、病者たちの長い訴えに耳を貸さず、地域一帯の水俣病検診を避け続ける国と、それに結果としての信任を与え続ける私たち自身のモラルである。あのように美しい不知火海の南部沿岸に生まれ落ちたというだけで、なぜこのような辛酸をなめさせられ続けなければならないのだろうか。判決後、そこに思いを馳せる言葉をまだ聞けていない。

この国は、この国の人々はどうなってしまうのだろうか。水俣病の患者さんたちと終生ともに在った作家・石牟礼道子さんが悲しい目でつぶやいたことがあった。「いつのまにか日本人自体が人類にとっての毒素になってしまいました。」



実川悠太 水俣フォーラム

Information

東海第二原発の再稼働を許さない!首都圏大集会

11月18日(土) 13:30~16:00 終了後、デモ行進 日本教育会館一ツ橋ホール(神保町駅A1出口) 登壇: 小出裕章、鴨下美和、村上達也ほか 前売り券800円、当日券1000円、学生500円、高校生以下・障害者無料 とめよう!東海第二原発首都圏連絡会 070-6650-5549 https://stoptokai2-shutoken.jimdofree.com/

りっかりっか★ねりま Fes2023

11月23日(木・休) 11:00~16:00 平成つつじ公園広場(練馬駅北口) 野外音楽イベント ゆんたくしようね〜 無料 連絡先: 080-3012-9373 (嘉藤) licca2nerima@gmail.com

11.23国会正門前アクション 沖縄も日本も戦場にさせるな!

11月23日(木・休) 14:00~15:30 国会正門前(国会議事堂前駅) リレートーク 沖縄と同時開催 「止めよう!辺野古埋立て」国会包囲実行委員会 090-3910-4140

第38回共同連大会 in 多摩

11月25日(土) 10:00~17:30 (その後交流会) 東京都多摩障害者スポーツセンター(谷保駅) だれもが共に働き、生きていける社会を〜「支援者-利用者」ではない関係をつくらう〜 要申し込み 現地参加1000円、オンライン500円、交流会4000円 NPO法人共同連 052-916-5308 https://kyodoren.org/?p=1508

関東大震災時の朝鮮人虐殺一証言から見てくるもの

12月9日(土) 14:00~16:00 高麗博物館展示室(東新宿駅) /オンライン併用 講師: 西崎雅夫 要予約 1000円 NPO法人高麗博物館 03-5272-3510

止めよう!羽田新飛行ルート
超党派議員らによる合同街宣に参加



●インバウンド需要の回復傾向とともに、羽田新飛行ルートによる飛行回数が増え、騒音、落下物等の危険が増している。10月21日、着陸ルート真下のJR大井町駅前各地で活動する政党、自治体議員らが集結。街行く人びとに連帯を訴えた。羽田問題国会議連の海江田万里衆議院議員、羽田問題解決プロジェクトから大村究代表(写真:上)が、続いて都議会議員、各区の区議らがリレートーク、各地の町会・自治会の過半数が新飛行ルート撤回を求めて署名活動に参画、従来の海から入って海へ出るルートで増便可能である事実等をアピール。新飛行ルート撤回を約す場となった。

波など「地球沸騰」と称した危機感が広がりながら、戦争に近くなると同時に、健康に

学校の断熱改修を

CO₂削減と同時に身近な問題として、健康に



明治神宮外苑再開発の現場のツアーを開催。7月27日

東京・生活者ネットワーク
都議会REPORT

都議会第3回定例会から

東京・生活者ネットワーク都議会議員
岩永やす代 [国分寺市・国立市]



環境確保条例が改正

今年 IPCC は、気温上昇を1.5℃以内に抑えるためには各国の温室効果ガス削減のさらなる取り組みが必要であると指摘しました。国際的には相次ぐ山火事や熱

環境確保条例が改正された。今議会に出された改正案は、キャップ&トレード(※)の削減義務率を引き上げることや中小規模事業所の省エネ・再エネ利用の拡大を促進する

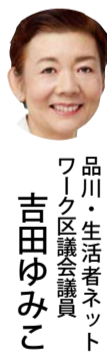
かかる暑さ対策も重要です。空調設備の効率化と建物の断熱化が効果的であり、子どもたちの学習環境整備の観点からも学校の断熱改修を求めました。また、製品をまるごと分別・資源化してリサイクルできる循環型のリサイクル、サーキュラーエコノミーのしくみづくりを提案しました。



代々木公園で行われた再エネ100%と公正な社会をめざす「ワタシのミライ」イベント&パレードに参加。9月18日

よる国際情勢を背景に、各国の協力体制が構築できない不透明な状況が続いています。日本でも今年は真夏日も暑日も過去最多となり、さらに記録的な台風、豪雨も頻繁に起こるなど、いよいよ気候危機対策は待たなれませんが、政府が本気で取り組む姿勢は見えません。

マイナ保険証の延期と
今の保険証存続を!
意見書提出を求める請願、
否決される



トラブルと混乱の続くマイナンバーカード

マイナンバーカードにかかわるトラブルが続いている。政府がマイナンバーカードと健康保険証の一体化を掲げて後、個人情報にかかわる取り違え、情報漏洩などの事故やミスが頻発、政府の対応に不信が拭えず、マイナンバーカードの発行手続きを控えたり、すでに発行済みのカードを自主返納する人が現れたりする事態となっている。混乱は、市民だけでなく自治体や政府の間でも続いており、依然として先が見通せない状況となっている。

立ち止まり、徹底したシステムの再構築へー賛成討論から

本請願は、国が行うとしている「2024年秋の健康保険証の廃止を延期し、現在使用している健康保険証をマイナンバー制度の安全性が確保され安心して利用できる環境が整うまで存続させてほしい」と願い、同様の意見書を国に提出することを求めている。

この状況で、来年秋に現行の健康保険証を廃止することに、多くの人が不安を覚えるのは当然のことではないか。政府に対し、まずは国民の不安の払しょくを優先し、国民皆保険のもと、誰もが必要な時に必要な医療を受けられるよう、かつマイナンバー制度が孕む問題・課題の深刻さに立ち返り、徹底的なシステムの総点検を行うことが優先されるべきは論を待たないはずだ。

委員会でも賛成多数を得るも、僅差で本会議不採択

当請願は9月23日、付託先の厚生委員会でも審査され賛成多数で本会議に送られたため、品川・生活者ネットワークは、所属会派を代表して、請願に賛成の立場で討論を行った。採決では、反対討論に立った自民ほかの反対が賛成を上回り、請願は不採択に。今ここにある市民の不安より、政権擁護を優先する勢力の民意との乖離、無理解、無関心が明らかとなった。

都政
NOW
区市とつなぐ

編集後記 / 11月7日、都議会棟を会場に、都議会生活者ネットワーク岩永やす代都政フォーラム「都市計画から見る神宮苑再開発問題」が開催される。講師に大西隆さん(東京大学名誉教授)を迎え、今回の再開発の何が問題か、掘り下げていただく。編集部でも先頃、改めて現地踏査に。第2球場と周辺の低木はすでに壊れつつあるも、東京に残存するまとまった緑地、高木を含む100年の森、公共財として親しまれてきた歴史的建造物等々を巡る。都心で得難い癒しの空間、時間……今、立ち止まって再考すべき東京問題として、私たちに何ができるか考える機会としたい / 2024年1月の生活者通信に関連記事を掲載予定です。(加藤)